

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	5 4 0	G 0 6 F 13/00	5 4 0 P
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6
	3 3 0		3 3 0
	5 0 2		5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願2001-260867(P2001-260867)

(22)出願日 平成13年8月30日(2001.8.30)

(71)出願人 501342942

有限会社ベアコミュニケーションズ
東京都豊島区南池袋2-24-1河合ビル5
F

(72)発明者 鈴木 毅

東京都豊島区南池袋2-24-1河合ビル5
F 有限会社ベアコミュニケーションズ内

(74)代理人 100095267

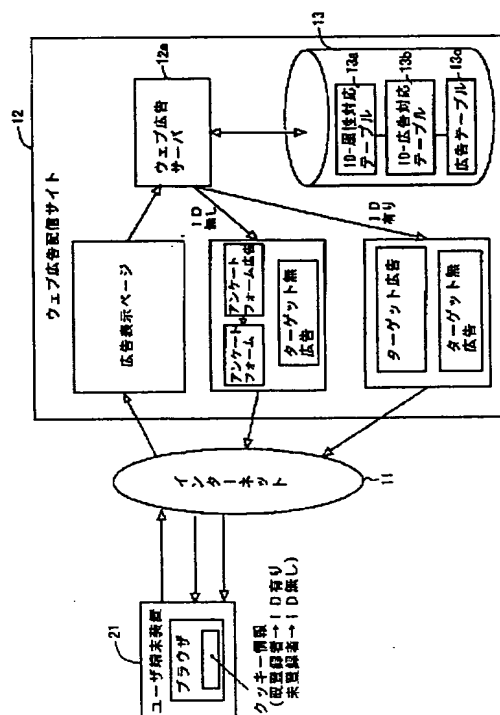
弁理士 小島 高城郎 (外1名)

(54)【発明の名称】 ウェブ広告配信システム

(57)【要約】

【課題】 ユーザが簡単にターゲット広告の配信を受けることができ、ユーザ登録の促進を図ることができるウェブ広告配信システムを提供する。

【解決手段】 ウェブ広告サーバが、ターゲット属性をもつ広告を該ターゲット属性と共にターゲット広告として、ターゲット属性のない広告をターゲット無広告として登録する手段と、ユーザIDとユーザ属性とを対応付け登録する手段と、ユーザ端末装置からクッキー情報を取得し既存のユーザIDの有無を認識する手段と、ユーザIDが有る場合、ユーザ属性に該当するターゲット広告を配信する手段と、ユーザIDが無い場合、登録用アンケートフォーム表示のためのアンケートフォーム広告を配信する手段と、新規ユーザIDを含むクッキー情報を保存させるべく返信する手段と、全ユーザ端末装置に対しターゲット無広告を配信する手段とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続されたユーザ端末装置にウェブ広告を配信するウェブ広告サーバを具備するシステムにおいて、前記ウェブ広告サーバが、前記ユーザ端末装置からクッキー情報を取得して該クッキー情報に既存のユーザIDが含まれているか否かを認識するクッキー情報認識手段と、前記クッキー情報に既存のユーザIDが含まれていない場合、前記ユーザ端末装置に対して登録用アンケートフォーム表示のためのアンケートフォーム広告を配信するアンケートフォーム広告配信手段と、前記登録用アンケートフォームを介して前記ユーザ端末装置から新規のユーザ属性が伝送された場合、該ユーザ端末装置に対し新規のユーザIDを含むクッキー情報を保存させるべく返信するクッキー情報返信手段とを有することを特徴とするウェブ広告配信システム。

【請求項2】 インターネットに接続されたユーザ端末装置にウェブ広告を配信するウェブ広告サーバを具備するシステムにおいて、前記ウェブ広告サーバが、ターゲット属性をもつ広告をターゲット広告として該ターゲット属性と共に登録しつつターゲット属性のない広告をターゲット無広告として登録する広告登録手段と、ユーザIDとユーザ属性とを対応付けて登録するユーザ登録手段と、前記ユーザ端末装置からクッキー情報を取得して該クッキー情報に既存のユーザIDが含まれているか否かを認識するクッキー情報認識手段と、前記クッキー情報に既存のユーザIDが含まれている場合、該ユーザIDのユーザ属性に該当するターゲット属性をもつ前記ターゲット広告を前記ユーザ端末装置へ配信するターゲット広告配信手段と、前記クッキー情報に既存のユーザIDが含まれていない場合、前記ユーザ端末装置に対して登録用アンケートフォーム表示のためのアンケートフォーム広告を配信するアンケートフォーム広告配信手段と、前記登録用アンケートフォームを介して前記ユーザ端末装置から新規のユーザ属性が伝送された場合、該ユーザ端末装置に対し新規のユーザIDを含むクッキー情報を保存させるべく返信するクッキー情報返信手段と、全てのユーザ端末装置に対し前記ターゲット無広告を配信するターゲット無広告配信手段とを有することを特徴とするウェブ広告配信システム。

【請求項3】 前記登録用アンケートフォームを介して前記ユーザ端末装置から伝送される新規のユーザ属性として個人特定情報を含まないことを特徴とする請求項1又は2に記載のウェブ広告配信システム。

【請求項4】 前記新規のユーザIDに基づいて抽選を実行する抽選実行手段と、前記抽選の結果、当選したユーザIDを記録する当選ユーザID記録手段と、

前記クッキー情報認識手段により認識された既存のユーザIDと、前記当選ユーザID記録手段に記録されたユーザIDとの照合を実行する当選ユーザID照合手段と、前記照合の結果、当選したユーザIDを有するユーザ端末装置に対し当選情報を配信する当選情報配信手段とをさらに有することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のウェブ広告配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット上で広告（以下ウェブ広告）を配信するウェブ広告配信システムに関し、特に、登録ユーザ数の増加を促進する機能を組み込んだウェブ広告配信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ユーザの要望に応じてあるいはユーザの要望を予測して広告配信する場合、例えば、ユーザがユーザ端末装置から広告配信を行うポータルサイト等にアクセスし、所定の登録フォームにより氏名や連絡先等の個人情報を入力して登録を行い、予めユーザIDを発行される。その後は、当該広告配信サイトへアクセスし、当該ユーザIDを入力することによりユーザに特化した広告すなわち特定ユーザをターゲットとした広告配信を受けることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のウェブ広告配信システムでは、広告配信サイトへの登録は、登録の意思をもったユーザが当該サイトの登録フォームへアクセスすることにより行われており、未登録のユーザを自動的に識別して登録フォームを提示して登録を促すようなシステムではなかった。つまり、登録ユーザ数の増加を自動的に若しくは積極的に促進するシステムではなかった。

【0004】また、一般にユーザIDの発行を受ける際には、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等、個人情報の中でもユーザ本人を特定可能な個人特定情報の入力を要求される場合も多い。しかしながら、このような個人特定情報の入力は、漏洩や悪用に対する危惧があるため躊躇される。ユーザがこのような不安を抱くようなシステムでは、登録ユーザ数の増加は見込めず、ターゲット広告の効果も期待できないこととなる。

【0005】またさらに、ターゲット広告の配信を受ける際には、ユーザが広告配信サイトへアクセスする毎にユーザIDを入力しなければならない場合もあり、ユーザにとって煩雑であった。

【0006】以上の問題点に鑑み、本発明は、インターネットを介したウェブ広告配信システムにおいて、広告配信サイトへの登録ユーザ数を積極的かつ自動的に増加させるようなシステムを提供することを目的とする。

【0007】また本発明は、個人特定情報を明らかにせ

ずとも広告配信サイトへ登録することができ、ユーザIDを発行されることができるシステムを提供することを目的とする。

【0008】またさらに本発明は、ユーザがアクセス毎にユーザIDを入力することなくターゲット広告の配信を受けることができることを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するべく本発明は、次の構成によるウェブ広告配信システムを提供する。

【0010】(1) 本発明によるウェブ広告配信システムは、インターネットに接続されたユーザ端末装置にウェブ広告を配信するウェブ広告サーバを具備し、前記ウェブ広告サーバが、少なくとも次の(a)～(c)の各手段を有する。

【0011】(a) 前記ユーザ端末装置からクッキー情報を取得して該クッキー情報に既存のユーザIDが含まれているか否かを認識するクッキー情報認識手段。この手段は、ユーザ端末装置から当該広告配信サイトへアクセスがあった際に、ユーザ端末装置のブラウザに関連して記憶されているクッキー情報を読み取り、そのクッキー情報の中に既に発行したユーザIDが保存されているか否かを認識する手段である。クッキー情報は、ユーザ端末装置とウェブサイトとの間で送受される情報でありユーザ端末装置の所定の記憶場所に保存されているが、通常の操作においては、ユーザはクッキー情報の存在を意識しない。

【0012】(b) 前記クッキー情報に既存のユーザIDが含まれていない場合、前記ユーザ端末装置に対して登録用アンケートフォームを表示するためのアンケートフォーム広告を配信するアンケートフォーム広告配信手段。この手段は、クッキー情報に既存のユーザIDが保存されていないすなわち未登録ユーザであると認知した場合、予め準備されている登録用アンケートフォームを表示するためのアンケートフォーム広告をユーザ端末装置へ配信し、そのブラウザに表示させる。これにより、アクセス時にはユーザに全く登録意思が無かった場合でも登録を促すことが可能となる。登録用アンケートフォームと合わせて賞品抽選等のプレゼント情報を提示して動機付けを行うとさらに効果的である。

【0013】(c) 前記登録用アンケートフォームを介して前記ユーザ端末装置から新規のユーザ属性が伝送された場合、該ユーザ端末装置に対し新規のユーザIDを含むクッキー情報を保存させるべく返信するクッキー情報返信手段。この手段は、上記(b)の登録用アンケートフォームにより新規ユーザ登録が行われた場合、当該ユーザに対して新規のユーザIDを発行し、その新規ユーザIDをユーザ端末装置のブラウザにクッキー情報として保存させるべくユーザ端末装置へクッキー情報を返信する。

【0014】(2) さらに前記ウェブ広告サーバが、上記(1)の各手段に加えて次の(d)～(g)の各手段を有することが好適である。

【0015】(d) ターゲット属性をもつ広告を該ターゲット属性と共にターゲット広告として登録しつつターゲット属性のない広告をターゲット無広告として登録する広告登録手段。これは、ターゲット属性をもつ広告については当該広告をそのターゲット属性情報と共に登録し、ターゲット属性をもたない広告については特定のターゲットの無い広告であることを明示してあるいはターゲット属性を空欄として登録するための手段である。

「登録する」とは、例えば、適宜の記憶手段へデータベースの形態で記憶し管理することである(以下同じ)。「ターゲット属性」とは、当該広告の配信対象(ターゲット)とする属性を云い、例えば「男性」、「女性」、「20代」、「既婚者」等の複数の項目からなる。

【0016】(e) ユーザIDとユーザ属性とを対応付けて登録するユーザ登録手段。これは、新規登録ユーザに対して発行したユーザIDと、当該ユーザにより入力されたユーザ属性情報とを対応付けて登録する手段である。「ユーザ属性」とは、例えば「性別」、「年齢」等の項目の具体的内容であり「女」、「23歳」等である。

【0017】(f) 前記クッキー情報に既存のユーザIDが含まれている場合、該ユーザIDのユーザ属性に該当するターゲット属性をもつ前記ターゲット広告を前記ユーザ端末装置へ配信するターゲット広告配信手段。この手段は、クッキー情報に既存のユーザIDが保存されていると認知した場合に、上記(d)の手段を参照することにより当該ユーザIDに対応するユーザ属性を取得することができ、さらに上記(e)の手段を参照することにより当該ユーザ属性に該当するターゲット属性をもつ広告を抽出することができ、抽出したターゲット広告をユーザ端末装置へ配信する。

【0018】(g) 全てのユーザ端末装置に対し前記ターゲット無広告を配信するターゲット無広告配信手段。この手段は、ユーザの属性に関わらず、また登録ユーザであるか未登録ユーザであるかに関わらず、アクセスのあった全てのユーザ端末装置に対し特定のターゲットの無いターゲット無広告を配信する。

【0019】(3) 上記(1)又は(2)のウェブ広告配信システムにおいて、前記登録用アンケートフォームを介して伝送する新規のユーザ属性の中に、個人特定情報を含まないことが好適である。「個人特定情報」とは、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等、個人情報の中でもユーザ本人を特定可能な情報をいう。これに対し、性別、年齢、年代、未婚既婚の別、有職無職の別等は、ユーザ本人と特定するものではないので、個人特定情報ではない。本発明では個人特定情報以外の個人情報をユーザ属性の項目とする。

【0020】(4)上記(1)～(3)のいずれかのウェブ広告配信システムにおいて、さらに、次の(h)～(k)の各手段を有することが好適である。

(h)前記新規のユーザIDに基づいて抽選を実行する抽選実行手段。この手段は、新規に登録したユーザに対して発行した新規のユーザIDに基づいて抽選を実行する。これは、登録の動機付けを高めるための賞品提供のための抽選である。

(i)前記抽選の結果、当選したユーザIDを記録する当選ユーザID記録手段。抽選の結果、当選したユーザIDを適宜の記録手段に記録しておく。例えば、所定のテーブルを作成して記録する。尚、当選記録を保持しておく期間を定めておいてもよい。この当選記録保持期間をユーザに伝えておくと、ユーザがその期間内に再び当該サイトにアクセスする動機付けとなる。

(j)前記クッキー情報認識手段により認識された既存のユーザIDと、前記当選ユーザID記録手段に記録されたユーザIDとの照合を実行する当選ユーザID照合手段。新規登録ユーザが再度アクセスしてきた際に、クッキー情報のユーザIDを読み取り、それが当選ユーザIDであるか否かを判断する。

(k)前記照合の結果、当選したユーザIDを有するユーザ端末装置に対し当選情報を配信する当選情報配信手段。当選したユーザIDについては、その当選の事実を伝える情報をブラウザに表示させることによりユーザに伝える。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明について実施の形態に基づいて説明する。

【0022】まず、図1を参照すると、インターネット11上にはウェブ広告配信サイト12が配置されており、このウェブ広告配信サイト12にはウェブ広告サーバ12aが備えられている。そして、このウェブ広告サーバ12aにはデータベース13が接続されている。データベース13に、登録された複数の広告が格納されるとともに、後述するID属性テーブル及びID-広告テーブルが設定されている。なお、当然のことながら、インターネット11にはプロバイダサーバ(図示せず)を介して複数のユーザ端末装置21が接続されている(図1においては、一つのユーザ端末装置21のみを示す)。

【0023】ユーザがユーザ端末装置21を用いて、ウェブ広告配信サイト12の提供する広告表示ページ(または、他のサイトから移行することができる本サイト内のページであれば、どのページでもよい)へアクセスしたとき、ウェブ広告サーバ12aはユーザ端末装置21内のブラウザに保存されたクッキー情報を取得しその内容を読み取る。ユーザ端末装置のブラウザに保存されるクッキー情報は、ユーザが特に意識しない情報である。そして、クッキー情報に既存のユーザID(ユーザ識別

符号)が含まれているか否かを認知することにより、当該ユーザが登録済であるか未登録であるかを判断する。従って、既に登録済みのユーザであっても、アクセス時にユーザIDを入力する操作は不要である。

【0024】クッキー情報に既存のIDが含まれていないと認知した場合、当該ユーザは未登録であると判断される。そして、ウェブ広告サーバ12aは、ユーザ端末装置21に対して登録用のアンケートフォームを表示させるためのアンケートフォーム広告と、ターゲット無広告とを配信してブラウザに表示させる。アンケートフォーム広告は、ユーザをアンケートフォームへ導くための広告である。ユーザがアンケートフォーム広告をクリックすると、アンケートフォームが表示され、ユーザに対してアンケート入力(登録)を促す。この際、ウェブ広告サーバ12aは、抽選によって賞品等をプレゼントする情報を併せて配信することによってアンケート入力すなわち登録への動機付けを高めることが好適である。この登録用アンケートフォームを表示するためのアンケートフォーム広告は、ユーザに登録の意思が全く無い場合であっても自動的に表示されることになる。このように未登録ユーザを自動的に判別することにより、アクセスした当初には登録意思の無いユーザに対しても登録を促し、登録ユーザ数の増加を効率的に図ることができる。

【0025】上述の登録用アンケートフォームでの入力項目には、ユーザ属性(性別、年齢等)は含まれるが、個人特定情報(氏名、住所、メールアドレス等)は含まれない。ウェブ広告サーバ12aは、アンケートに回答したユーザに対して新規のユーザIDを発行し、そのユーザIDをユーザ端末装置21内のブラウザのクッキー情報として保存させるべく、当該ユーザIDを含むクッキー情報をユーザ端末装置へ返信する。前述の通り、通常ユーザはクッキー情報について意識しないため、ユーザがユーザIDの存在を全く意識しなくとも(登録について意識しなくとも)本発明を実施することが可能である。また、上記の登録用アンケートフォームについても、ユーザは「登録用」であることを意識することなく、単なるアンケートと解するようにもできる。

【0026】なお、新規登録したユーザに対する前述の賞品等の抽選結果の発表は、当該ページで即座に行ってもよいが、最適例では、次のアクセス時等に行う。抽選結果の発表方法の最適例は、次の通りである。ウェブ広告サーバ12aは、ユーザがアンケート回答した際に発行した新規のユーザIDに基づいて抽選を実行し、当選したユーザIDについては所定の当選テーブルにその当選内容や当選した日時等と共に記録しておく。そして、例えば、所定の期間内に再びユーザがアクセスしたとき、クッキー情報のユーザIDを読み取って当選テーブルと照合することにより、当選したユーザIDであるか否かを判断する。照合の結果、当選したユーザIDに該当するならば、例えば画面上のポップアップ情報のよ

うな形で当選情報をユーザ端末装置に配信することによりユーザに伝達する。従って、本システムでは、抽選の当選結果を通知するための電子メールアドレス等の個人特定情報は不要である。これにより、賞品抽選システムも含めた本システムの完全匿名性が実現される。

【0027】一方、新規に発行したIDとアンケートから得られたユーザ属性情報を対応付けて、ウェブ広告サーバ12aはID属性テーブル13aへ保存する。

【0028】ID属性テーブルは、例えば、図2に示す形式を有しており、ユーザIDに対応して各ユーザのユーザ属性が登録されている。図示の例では、ユーザID=1に対して、属性として「男」及び年齢「23」等のユーザ属性が登録されている。

【0029】好適例では、データベース13には広告テーブル13cが備えられており、この広告テーブル13cは図4に示す形式である。広告テーブル13cには各広告に対してターゲットの有無を示す情報が付加されており、図示の例では、広告31はターゲット広告であり、そのターゲット属性は、20代、女性等であることが分かる。一方、広告32及び33は、特定のターゲットの無いターゲット無広告である。

【0030】ウェブ広告の配信を行う際には、ウェブ広告サーバ12では、ID属性テーブル13a及び広告テーブル13cを参照して、各ユーザIDに配信すべき広告を広告テーブル13cから抽出して、ID広告テーブル13bに保管しておく効率的である。つまり、図2及び図4に示す例では、ID属性テーブル13aにおいて、ユーザID=1はそのユーザ属性が「男」、「23歳」、ID=2はそのユーザ属性が「女」、「35歳」、ID=3はそのユーザ属性が「女」、「24歳」であり、広告テーブル13cの広告31については、ターゲット属性が「20代」かつ「女性」であるから、広告31はユーザID=3にのみ配信されることになる。一方、広告32及び33については、ターゲット無広告であるから、広告32及び33はユーザID=1～3の全てに配信することになる。

【0031】ID広告テーブル13cは、図2に示すユーザIDを有するユーザ（つまり、ユーザ端末装置）に対して配信すべき広告を全て抽出したテーブルであり、そのユーザIDのユーザ属性に該当するターゲット属性をもつ広告（ターゲット広告）及び特定のターゲットを特定しない広告（ターゲット無広告）とが含まれる。

【0032】そして、ウェブ広告サーバ12aは、ID広告テーブル13bを参照して、各ユーザIDを有するユーザ端末装置に対して所定のターゲット広告及びター

ゲット無広告を配信する。

【0033】ところで、図示はしないが、従来型の既に普及しているバナーネットワークのバナーの1つとして本システムを提供することができる。すなわち、本システム自体をバナーの形態で配信できる。このように既に普及しているバナーシステムと連携することにより、既存のバナー掲載サイトに広告配信することも可能である。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では、ユーザ端末装置からアクセスがあった際に、ユーザ端末装置のブラウザに保存されたクッキー情報に既存のユーザIDが含まれているか否かを認識する。そして、未登録のユーザに対しては、登録用アンケートフォームを表示するためのアンケートフォーム広告を自動的に配信表示する。従って、未登録ユーザを自動的に判別して積極的な登録の意思がない未登録ユーザに対しても確実に登録を促すことができる。これにより、ユーザの任意の登録意思に委ねるだけの従来システムに比べて、格段に効率的に登録ユーザ数の増加を図ることが可能となる。

【0035】また、登録時に個人特定情報を入力しなくとも一般的なユーザ属性のみで的確なターゲット広告の配信が可能である上、個人特定情報を入力しないことから登録に対してユーザの心理的な抵抗が無いことから登録ユーザの増加を促進することができる。

【0036】また、登録ユーザについてもアクセス毎にユーザIDを入力する必要がなく、またユーザIDの存在を全く意識することなくターゲット広告の配信を受けることができるため、ユーザにとっても簡便で有用性が高い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるウェブ広告サーバの一例を広告配信システムとともに示す図である。

【図2】ID属性テーブルの一例を示す図である。

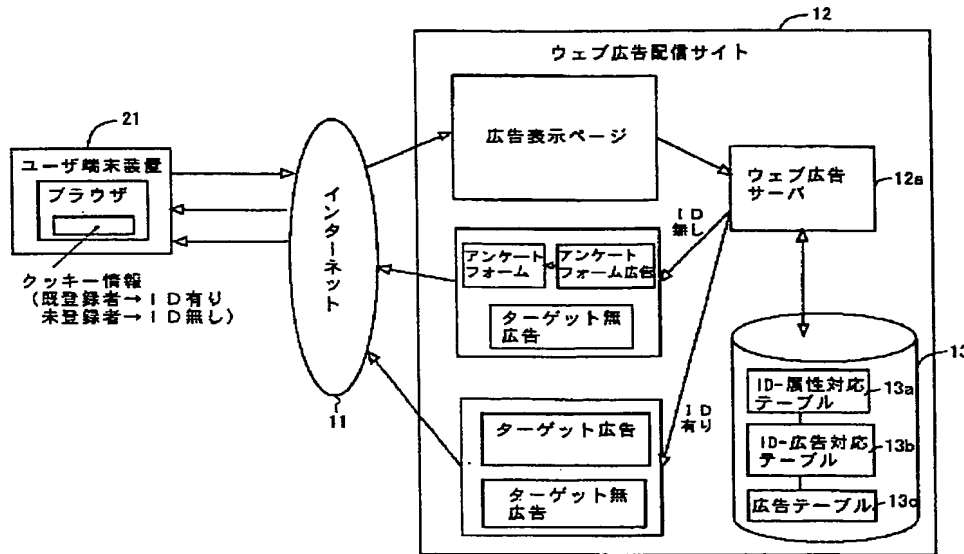
【図3】ID広告テーブルの一例を示す図である。

【図4】広告テーブルの一例を示す図である。

【符号の説明】

- 11 インターネット
- 12 ウェブ広告配信サイト
- 12a ウェブ広告サーバ
- 13 データベース
- 13a ID属性テーブル
- 13b ID広告テーブル
- 13c 広告テーブル
- 21 ユーザ端末装置

【図1】



【図2】

ID	属性		
1	男	23	...
2	女	35	...
3	女	24	...
...			

【図3】

ID	配信 広告	配信 広告		
1	広告32	広告33		...
2	広告32	広告33		...
3	広告31	広告32	広告33	...
...				

【図4】

	ターゲット有無
広告31	20代女性
広告32	ターゲット無し
広告33	"
...	